

第 31 回胸部放射線研究会東京部会プログラム (15 : 45 17 : 56)

●特別講演 (15 : 45 16 : 30)

座長：荒川浩明 (獨協医科大学)

”SARS: Radiographic and high -resolution CT findings and follow -up”

Ooi GCG, MD (Department of Diagnostic Radiology , Hong Kong University , Queen Mary Hospital)

■ 一般演題 I (16 : 35 17 : 20) (発表6分, 討論3分)

座長：楠本昌彦 (国立がんセンター中央病院)

1. 肺の MALToma の 2 例

山梨大学・放 同・内科¹⁾ 同・病理²⁾ 市立甲府病院・放³⁾ 同・外科¹⁾ 同・病理⁵⁾
南部敦史, 荒木 力, 西川圭一¹⁾, 土橋 洋²⁾, 斉藤彰俊³⁾, 宮澤正久⁴⁾, 宮田和幸⁵⁾

要旨：肺の MALToma は低悪性度の悪性リンパ腫であり, 比較的稀な肺腫瘍である。今回我々は肺の MALToma を 2 例経験したのでそれらの HRCT 所見及び HRCT 上の鑑別診断につき文献的考察を加え報告する。

2. VATS で診断された Lymphomatoid Granulomatosis (grade1) の 1 例

獨協医科大学放射線科 同・病理¹⁾ 同・呼吸器アレルギー内科²⁾
荒川浩明, 山崎絵令奈, 藤岡睦久, 本間浩一¹⁾, 小島勝¹⁾, 滝沢秀典²⁾

要旨：We report a case of grade 1 lymphomatoid granulomatosis in a 48 year-old man who presented with 4 months of persistent cough. Diagnosis was made by VATS. Radiographic and pathologic findings will be presented.

3. PET 癌検診で発見された左肺門部リンパ節発生の微小な悪性リンパ腫の 1 例

日本医科大学付属第二病院・放

梶原景子, 石渡京子, 椎葉真人, 阿部和也, 金城忠志, 鶴田晴子, 山田丈士, 山本 彰, 佐藤雅史

要旨：症例は 49 歳女性, PET 癌検診で左肺上部内側に異常な集積を指摘された。当院外科にて肺癌を疑われ手術施行, $\phi 20$ mm、左肺門リンパ節発生の B 細胞悪性リンパ腫であった。FDG-PET で発見された stage I の微小な悪性リンパ腫を経験したので報告する。

4. 兄弟発症を示した上葉優位な肺線維症の 1 例

杏林大学・放 同・一内¹⁾ 同・病院病理²⁾

稲岡祥幸, 横山健一, 中嶋美佳, 似鳥俊明, 後藤 元¹⁾, 五十嵐尚志¹⁾, 寺戸雄一²⁾

要旨：上葉優位の肺線維症を認めた 35 歳の男性。兄にも同様に上葉優位の肺線維症を認めた。特発性上葉限局型肺線維症 (網谷病) との異同や文献的検討を報告する。

5. 急速に増大した縦隔発生 PNET の 1 例

昭和大学横浜市北部病院・放 同・呼吸器センター¹⁾ 同・病理²⁾

藤澤英文, 鈴木美奈子, 浮洲龍太郎, 桜井幸太, 市川珠樹, 武中泰樹, 櫛橋民生, 松田正典¹⁾, 門倉光隆¹⁾, 中島宏昭¹⁾, 塩川 章²⁾

要旨：45 歳男性。胸痛で受診。CT, MRI で中縦隔から前縦隔にかけて内部不均一な巨大腫瘍が認められ, 肺動脈や心嚢に浸潤していた。生検が施行され病理組織学的に PNET (Primitive neuroectodermal tumor) と診断された。

■一般演題II (17:20 17:56) (発表6分, 討論3分)

座長: 櫛橋民生 (昭和大学横浜市北部病院)

6. 気管支からの発生が確認できた肺過誤腫の1例

埼玉県立循環器・呼吸器病センター・放

叶内 哲, 杉浦弘明, 松本寛子, 星 俊子

要旨: 肺過誤腫は末梢の小気管支から発生すると考えられるが, 病理学的に気管支との連続性を証明できることは稀である。肺末梢の過誤腫の連続切片を観察したところ, 発育先端で気管支内腔への発育が確認できた。

7. びまん性大細胞性B細胞リンパ腫の孤立性肺門リンパ節梗塞の1例

国立がんセンター中央病院・放診 同・臨床検査部¹⁾ 同・呼吸器外科²⁾ 同・血液外科³⁾

米盛 勲, 楠本昌彦, 松野吉宏¹⁾, 長井俊二, 立石宇貴秀, 渡辺俊一²⁾, 渡辺 隆³⁾, 森山紀之

要旨: 56歳男性検診異常影。造影CT上、左肺門部に造影効果を伴わない3.5cm大の境界明瞭な腫瘤を認めた。開胸生検により、びまん性大細胞性B細胞リンパ腫の肺門リンパ節梗塞と診断された。

8. 造影CTで高度に造影された胸腺腫の1例

国立がんセンター中央病院・放診 同・臨床検査部¹⁾ 同・呼吸器外科²⁾

楠本昌彦, 立石宇貴秀, 松野吉宏¹⁾, 渡辺俊一²⁾, 森山紀之

要旨: 69歳女性, 咳を主訴に撮影した胸部X線で縦隔に異常影を指摘された。造影CTでは前縦隔に腫瘤を認め, 腫瘤は大動脈と同程度に高度に造影された。病理所見では, WHO分類AB型の胸腺腫であった。

9. Pulmonary hyalinizing granulomaの1例

東京慈恵会医科大学・画像診断部 同・呼吸器内科¹⁾

三角茂樹, 山崎亜加里¹⁾, 佐藤哲夫¹⁾, 松島理士, 五十嵐隆朗, 市場文功, 福田国彦¹⁾

要旨: 健診で多発結節影として発見された, 希な pulmonary hyalinizing granuloma を経験したので報告する。